

1 次の計算で、正しいものには()に○を、まちがっているものには×を書き、下の 、その理由を書きましょう。

①
$$\begin{array}{r} 3.2 \\ - 1 \\ \hline 3.1 \end{array}$$

()

②
$$\begin{array}{r} 4.5 \\ + 1.2 \\ \hline 5.7 \end{array}$$

()

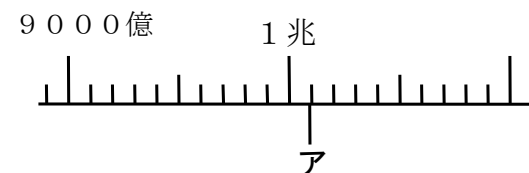
③
$$\begin{array}{r} 7 \\ - 2.1 \\ \hline 5.1 \end{array}$$

()

④
$$\begin{array}{r} 2.7 \\ + 2.3 \\ \hline 5 \end{array}$$

()

2 下の数直線で、アのメモリが表す数を考えます。あきこさん、ただしさん、ひかるさんは、つぎのように答えました。

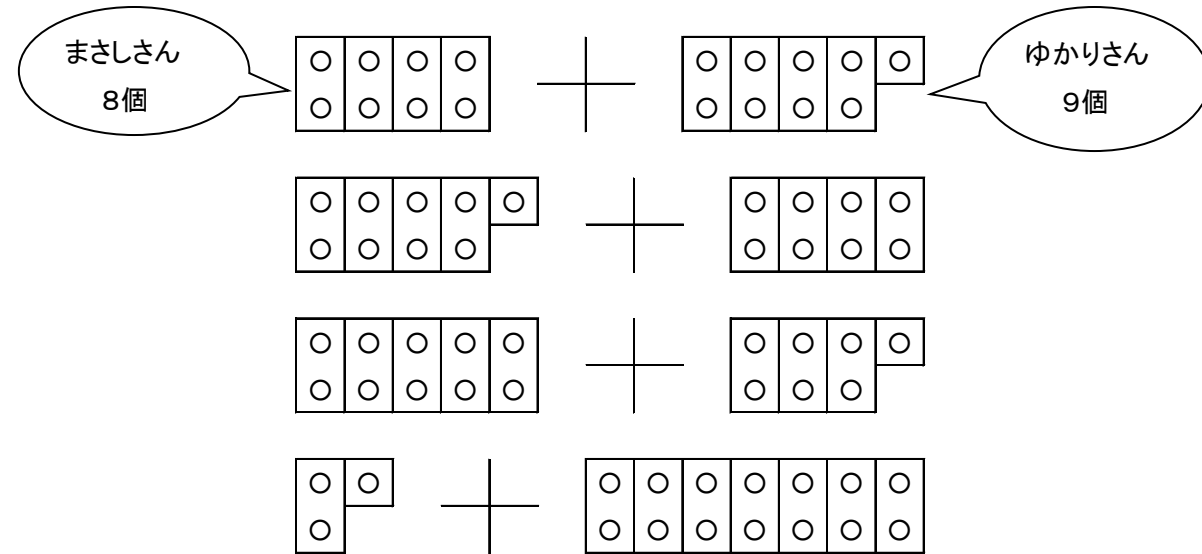


あきこさん 「1兆1億だと思っよ。」
 ただしさん 「2兆だよ。」
 ひかるさん 「1兆100億じゃないかな。」

① だれの考えが正しいですか。答えましょう。

② また、まちがった2人は、なぜそのようなまちがいをしてしまったのでしょうか。それぞれ、理由を説明しましょう。

- ③ まさしさんとゆかりさんがあめを分けています。
 ふくろから取り出して適当に分けました。まさしさんが、「ぼくのあめの数が8個で偶数、ゆかりさんのあめの数が9個で奇数だから、もともとあったあめの数は奇数だね。」と言い、図をかいて説明しています。
 まさしさんの図を用いて、「偶数と奇数の和は奇数になる」ことを説明しましょう。



- ④ まさるさんたちはクラスで賞状係になり、友だちと賞状カードを作っています。1まいの賞状カードは、たてが9 cm、横が15 cmの長方形にすることになりました。大きな長方形の色画用紙から切り取ってカードを作ろうとしています。
 次の問いに答えましょう。
- (1) まさるさんは、先生から使いかけの色画用紙をもらいました。長さを測ってみると、たてが36 cmで横が45 cmでした。
 この色画用紙からは、何まいの賞状カードを作ることができますか。

- (2) けんじさんとゆうこさんは、先生から新しい色画用紙をもらいました。長さを測ってみるとたてが39.2 cmで横が54.2 cmでした。2人とも向きを工夫してできるだけむだがないように作ると、けんじさんは14まい、ゆうこさんは15まいの賞状カードを作ることができました。
 けんじさんやゆうこさんはどのように賞状カードを作ったのでしょうか。図にあらわしましょう。

けんじさん

ゆうこさん

